

# 施設紹介 熊本県中央家畜保健衛生所

下益城郡城南町沈目

電話(〇九六二八)六〇二二(代)

ルス生化学検査)  
。寄生虫病検査及び各種疾病の調査試験  
。動物薬事の指導監督  
。獣医師に関すること  
管轄区域  
三市二十六町村  
熊本市 八代市 宇土市 飽託郡 宇  
土郡 下益城郡 上益城郡 八代郡  
以上のように畜産農家の家畜を病気か

ら守るために必要な日常の調査、試験、  
検査等を行っておりますが、特に病性か  
ん定事業については高度でしかも細密な  
検査技術が要求されておりますので高性  
能で新しい精密な機器を整備し、なお一  
層職員に技術研さんに努め、より生産性  
の高い畜産経営の実現をめざして衛生指  
導の充実を図って参りたいと思っております。

当保健衛生所は昭和二十六年四月熊飽  
家畜保健衛生所として設置され昭和四十  
二年四月国の再編整備計画により熊飽、  
宇城、上益城、八代、芦北の五つの家畜  
保健衛生所を統合して中央家畜保健衛生  
所と改称し(熊本市刈草町に新築移転)  
昭和四十六年四月管内の水俣市、芦北郡  
を城南家畜保健衛生所へ管轄変更を行  
い、更に昭和五十三年三月家畜衛生技術  
研修施設生化学病性鑑定施設およびウイ  
ルス検査施設等の整備拡充のため下益城  
郡城南町に新築移転し現在に至っており  
ます。当保健衛生所は家畜衛生の向上を  
図り畜産の振興に資するため本県の家畜  
衛生の中核センターとして関係行政部局  
と緊密な連携のもとに家畜防疫及び家畜  
の保健衛生並びに家畜衛生情報の解折提  
供を行うことを目的として設置されたも  
のであります。

近年におけるわが国の農業をとりまく  
厳しい内外の諸情勢の中にあつて畜産は  
高度化する食糧消費構造の変化に伴い、  
今後ますます需要の増加が見込まれ、総  
合農政の重要な部門として大幅な発展が  
期待されています。

しかしながら農村における畜産物の自

由化、海外悪性伝染病の侵入、畜産経営  
に起因する環境汚染の防止、更には動物  
医薬品の適正流通など、畜産をめぐる情  
勢はますますきびしさを加えつつありま  
す。今日の多頭飼育専門的経営の中で衛  
生措置の不備により健全な経営が阻害さ  
れ、不慮の事態を招くことが応々にして  
みられ、家畜衛生の重要性が痛感されて  
おります。家畜保健衛生所の最大の業務  
である家畜衛生対策は完璧なる発生予防  
と適切なまん延の防止が最大の条件で  
あります。これらの状況をふまえて最  
新の技術を積極的に発揮し、畜産技術者  
や畜産農家のよき指導者、よき相談相手  
となり、また研修の場として、畜産経営  
の基礎となる家畜衛生基盤の確立に万全  
を期して参りたいと思っております。当  
保健衛生所は、総務課、衛生課、検査課  
の三課制で十七名の職員が次の調査試験  
検査等の業務を推進しております。  
。家畜伝染病の防疫、予防、指導  
。家畜衛生の知識及び技術の普及研修  
。県外移入家畜の検査  
。自衛防疫組織の育成強化  
。畜産環境保全  
。家畜の病性かん定(細菌、病理、ウイ



▲中央家畜保健衛生所



このコーナーは県出身者で  
各界で活躍しておられる方々  
を紹介するとともに、県政へ  
の提言などをお聞きするもの  
です。

## 働けば涼し

俳優 伊沢一郎

黒のコートにハンチングを被った若々しい格好で、県東京事務所に約束の時  
間の五分前に現われた伊沢さんは、さすが時間に生きるきちょうめんな人柄だ  
と思われた。

「働けば涼し」を特に最近強く感じていますよと温和な笑顔で淡々と語られ  
る。

「私は今でも熊本の人間ということを誇り  
にしています」といって、仕事の打ち合わせ  
にきたプロデューサーと一緒に帰られる伊沢  
さん。

「これからは元気で大いにがんばってくだ  
さい」と祈らざるを得ないほのほとしたも  
のが残る。

明治四十五年生まれ。菊池市下河原出身。  
戦前の「五人の斥候兵」「麦と兵隊」「将  
軍と参謀と兵」、戦後の「戦艦大和」など戦  
争ものや柔道ものに出演。最近はおっぱらバ  
イプレーヤーとして人気を集めている。

現住所 東京都世田谷区砧三二九一六

## 映画の魅力

僕は菊池市の河原というところで生ま  
れ、そこに小学校六年生まで住んでいま  
した。  
僕の父親は警察署長をやっております  
が、僕が十二歳の時に亡くなりました  
ね。

僕は七人兄弟の末っ子だったものです  
から親戚の家に転々と預けられたんで  
す。

やはり邪魔者だったのでしょな。  
それで上から三番目の姉が東京に住ん  
でおりまして、旧制の中学  
校高輪学園に入りました。

僕は陸上競技をやっています、菊池  
の河原小学校でも一番速かったんです。  
その頃、東京の大学で招待陸上競技会  
がありましたね。優秀な選手は各大学が  
引っこ抜くわけです。僕は早稲田にいく  
ことになっていたんですが、公立でなけ  
ればだめだというわけです。公立だと受  
からないんですよ。それで正直なところ、  
少しぐれました。

高輪学園というのは、中学と商業の二  
部制で、午前中に中学の授業があり、午  
後が商業でした。僕は商業の方でしたか  
ら、その時間を利用して浅草まで行って  
いました。

その頃、僕は早稲田の商学部部長だった  
吉野先生の家に預けられていたんです。

